

2020年度夏季の諸活動に向けて

日本連盟コミッショナー 福嶋 正己

指導者の皆様へ

平素はスカウト活動にご尽力賜りありがとうございます。

現在は新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言は解除されておりますが、昨今のニュースでは、感染が拡大している兆候も見られ、収束までにはまだまだ予断を許さない状況です。

例年であれば、夏季は年間の活動の締めくくりとして長期でのキャンプや舎営などが行われ、大きな進歩、成長を遂げる機会となりますが、今夏については、新型コロナウイルス感染の影響下で、夏休みの短縮や3密を避けた感染拡大防止に配慮した活動となります。

つきましては、活動にあたっては、日本連盟や所属県連盟から発出されている最新の活動方針に従い、地域の状況を踏まえたうえで、**感染防止対策**や別紙の**夏季特有の安全対策**（熱中症など）に取り組み、夏季の諸活動が安心安全に行われますようご指導をよろしくお願いいたします。

また、日本連盟では、このたび、コロナ禍により閉塞感のある毎日を経験している全国の子供たちを励ますための自然体験活動事業を文部科学省より受託し、各県連盟と連携して実施することとなりました。これは各団が普段行っている自然体験活動をベースとして、一般の子供たちと一緒に楽しむことができる機会となり、新規スカウト募集の良いきっかけとなる事業となります。この事業を活用いただくなどして、ぜひ各団で新しい仲間を増やしていきましょう！

最後になりますが、本年5月30日オンライン全国大会でも申し上げましたが、再度皆様に、日本連盟コミッショナーとしての私の想いをお伝えさせていただきます。

メッセージ（抜粋）

私たちはみな、事態の沈静化に向けて協力していかなければなりません。元の暮らしに戻るのではなく、新型コロナウイルスの影響下で、新しい生活様式による日常のスタートが求められています。

各地域で、安全で安心な活動を再開できるよう、「感染拡大予防のためのガイドライン」を発信しました。県連盟ごとに地域の状況を把握し、それぞれの地域状況に即して対応していただくことが多くあります。このガイドラインは、今後も状況に応じて適宜見直しを行い、皆さんに示していきたいと思っております。

この新型コロナウイルスの影響下、まずは仲間とのコミュニケーションを十分にとってください。現代は、便利なツールがたくさんあります。

隊長は、スカウト（特に班長）と十分につながってほしいと思っております。

いまこそ、私たちは「ちかい」と「おきて」の実践に立ち返るときです。

私たちは、今この時を、特別に与えられた時間として、私たち自身のためだけに使うのではなく、スカウトとして、スカウトの「ちかい」である「いつも他の人々をたすけます」を実践するときとして捉えていきましょう。

善行はどんなに小さなことでも構いません。災害時の取り組みなど、さまざまな貴重な経験から相手の立場に立って行動する姿勢こそ、スカウトのあるべき姿だと考えます。

スカウトの「ちかい」に、「からだを強くし、心を健やかに、徳を養います」とあります。これは単なる心身の健康を意味しているわけではありません。この「強さ」や「健やかさ」には、「大事なことに対して、決してひるまず実践していく」ということにつながる意味が含まれていると思っております。

困難なときや迷ったときにこそ、スカウトの「おきて」を一つひとつ思い起こし、行動してください。そうすることにより、スカウトとして、ゆるぎない心で他の人々を助けるよう、努めることができるでしょう。

純粋に、誠意をもって素直でいる心が「徳」というものを自らの心の中に育てていくのではないのでしょうか。そして、その「徳」を備えたスカウトは、将来、必ずや社会に対して良い影響を与えてくれると思っております。

スカウトのモットーは「なかよし」「いつも元気」、そして「そなえよつねに」です。

今なすべきことをしっかりと心に留め、日本のスカウト運動を世界に発信し、そしてもっとたくさん仲間を増やしていきましょう。

私たちのユニフォームの右胸には、世界スカウト記章がついています。私たちは、世界171の国と地域で活動する4,000万人の仲間と共に、世界のスカウト運動の一員です。

より良い世界を創るために、いつの日も歩みを止めることなく、これからも前へ進んでいきましょう。

Scouting Never Stops !



以上